

<「TOKYO エシカルファッションチャレンジ」の活動レポート>

参加者は8月から7回のワークショップに参加し、エシカル消費について学び、オリジナルウェアの制作に取り組みました。活動の詳細は、TOKYO エシカルのWEBサイトをご覧ください。

<https://www.ethical-action.tokyo/articles/3839/>

<ワークショップ講師・製作協力> (登壇予定)

○講師・全体ディレクション (TOKYO エシカルアドバイザー)

エシカルディレクター 坂口 真生 氏



高校時代にアメリカへ渡り、大学卒業後ニューヨークにて音楽業界に携り、自社音楽レーベルを設立。日本へ帰国しアッシュ・ペー・フランスに入社。2012年、日本最大のファッション・デザイン合同展示会「rooms」で日本初となるエシカルをテーマとしたエリアを立ち上げる。SDGs や ESG 等の関心の高まりから、多角的なエシカル/サステナブルのビジネスコンサルティングを多数先導。2021年、エシカルコンビニを始動。同年独立し、GENERATION TIME 株式会社を創業。

○デザイン

デザイン事務所 ConcePione(コンセピオン)代表一法師 拓門 氏



グラフィックデザイナー、クリエイティブディレクター、デザイン事務所 ConcePione(コンセピオン)代表。日本を代表するZ世代クリエイターとして多くのデザインプロジェクトにおいて活躍。高校卒業後ヨーロッパへ渡り、国内外のファッションブランドでデザイナーとして従事した後独立。グラフィックデザイナーとして多くのロゴや広告、ファッショングラフィックをデザインし、現在はブランド戦略のディレクターとして、ナラティブの構築からコンセプト設計などのCI開発、ビジュアルデザイン、VI制作まで一貫して手がけている。2022年に、自身オリジナルのアートワークプロジェクト「Chaine -Project-」を始動。

○衣装製作・技術協力・デザイン (TOKYO エシカルパートナー企業)

株式会社三栄コーポレーション



「アワーアースプロジェクト」を中心として、世界各国のエシカル商品をECサイト等で取り扱うほか、基幹のOEM事業でも、環境配慮型素材の提案の幅を広げるなど、商社の立場から、生活用品、ファッション業界のエシカル消費を推進。

〈主な取り扱いブランド〉

Pure Waste, e-dye, uF, YOT Watch, KERBHOLZ, GOTBAG, AIRPAQ, kaala, BOHONOMAD, Formio

※「TOKYO エシカルファッションチャレンジ」は東京都が推進するエシカル消費を日常にするためのプロジェクト「TOKYO エシカル」の取組の1つとして実施しています。



WEB サイト

<https://www.ethical-action.tokyo/>



インスタグラム

https://www.instagram.com/tokyo_ethical/